

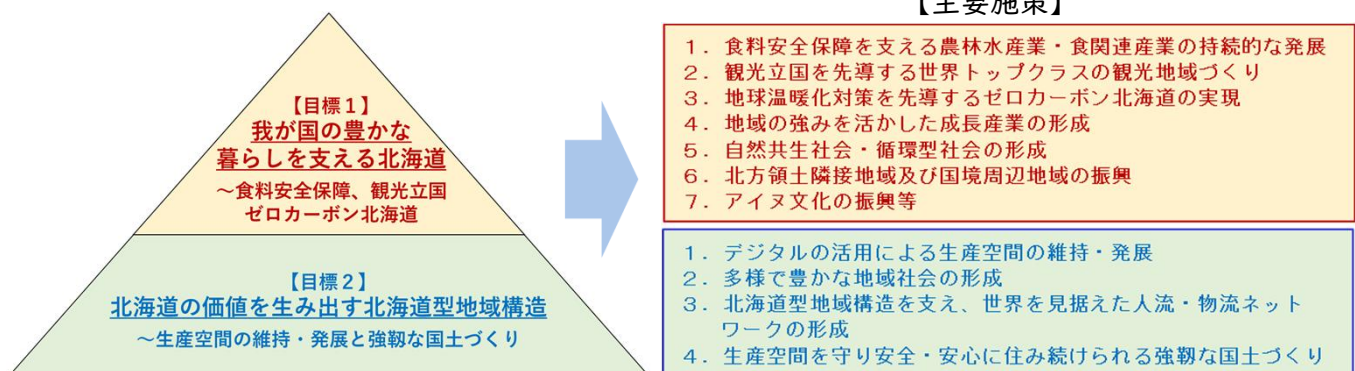
北海道開発計画調査（重点事項調査）について

国土交通省北海道局・北海道開発局では、北海道総合開発計画の企画、立案及び推進に必要な調査を実施しております。特に、同計画の目標として掲げ、北海道の価値と位置づける「食」「観光」「脱炭素化」とその価値を生み出す「北海道型地域構造」の保持・形成等に関して、重点的に調査しているところです。

【第9期 北海道総合開発計画の目標】

計画期間 2024年度からおおむね10年間

【主要施策】



令和5年度実施 重点事項調査

- ◆ 北海道観光における移動分野のサステナブルツーリズム検討調査
- ◆ 苫小牧東部地域におけるカーボンニュートラルの推進等に関する調査
- ◆ 北海道の食料供給力強化に向けた輸送の全体最適化に関する調査
- ◆ 津波避難時における情報提供に関する検討業務

※令和5年度調査は、第8期北海道総合開発計画の主要施策に基づき実施

上記調査の概要や過年度の調査内容については、北海道開発局のホームページに掲載

されておりますので、各種施策、プロジェクトの企画・立案等にお役立てください。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/chousa/u23dsn0000001rud.html>

なお、秋頃には「北海道開発計画調査等説明会」の開催（オンライン）を予定しております。ご関心のある方はぜひともご参加ください。



お問合せ先：北海道開発局 開発監理部 開発調査課 電話番号011-709-2311（内線5444）

国土交通省北海道局・北海道開発局

令和5年度実施 重点事項調査

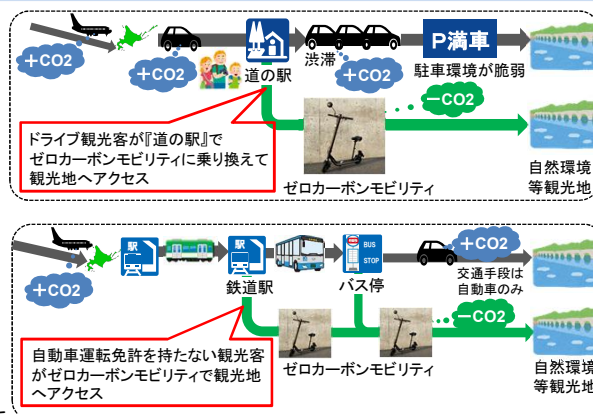
◆ 北海道観光における移動分野のサステナブルツーリズム検討調査

【概要】

ドライブ観光と「ゼロカーボン北海道」の両立に向け、新たなゼロカーボンモビリティの活用方策等を検討するなど、北海道観光における移動分野のサステナブルツーリズムの実現方策を検討。

【調査内容】

- ・本州都市部で普及が進んでいるシェア型と異なる北海道の地方部における観光活用のための運用方法・安全対策等の検討
- ・CO2削減等環境負荷低減に資する観光行動選択に関する意識調査 ※本調査は令和6年度も継続して行っています。



◆ 苫小牧東部地域におけるカーボンニュートラルの推進等に関する調査

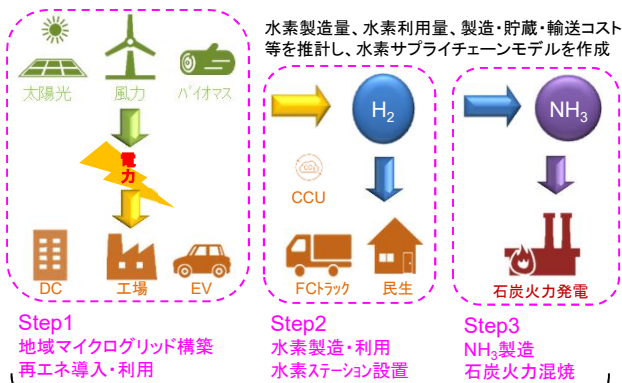
【概要】

北海道の豊富な地域資源や地理的特性を活かし、我が国のカーボンニュートラルの実現に寄与する先導的な取組を推進するとともに、苫小牧東部地域の開発を推進。

【調査内容】

- ・地域における水素サプライチェーンモデル作成
- ・地域における水素社会実現に向けたロードマップ作成

◆ 苫小牧東部地域を中心とする水素サプライチェーンモデルを作成



◆ 水素サプライチェーン構築へのStep等を段階的に示した、2050年の水素社会実現に向けたロードマップを作成

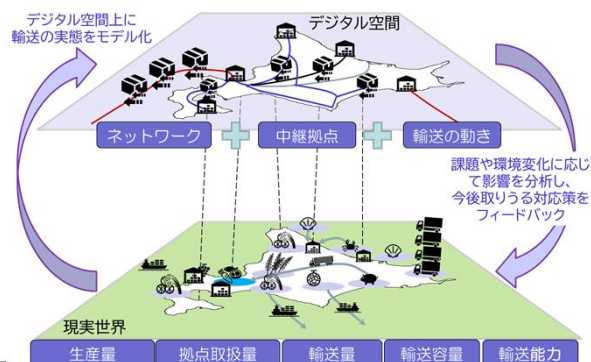
◆ 北海道の食料供給力強化に向けた輸送の全体最適化に関する調査

【概要】

国際情勢の変化に伴う食料安全保障の観点から、食料供給基地である北海道の価値を最大限に活かすため、輸送に係る課題や環境変化を踏まえ、将来影響を調査・分析し、生産空間から消費地までの輸送の全体最適化方策を検討。

【調査内容】

- ・道外への輸送実態調査
 - ・デジタル空間上に輸送の現状を再現したモデル化検討
- ※本調査は令和6年度も継続して行っています。



◆ 津波避難時における情報提供に関する検討業務

【概要】

人口密度が低く広域分散型の居住形態であり積雪寒冷地である北海道の地域特性を踏まえ、行政、民間企業、地域住民等が連携し、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に対する津波避難情報支援ネットワーク構築に向けた検討を実施。

【調査内容】

- ・情報提供による津波避難支援の検討

【参考】防災情報共有システム

